

被相続人居住用家屋等確認申請書

申請者 住所 ○○県○○市○○町×丁目×番×ー×××号
 氏名 ○ ○ ○ ○ 電話 XXX-XXXX-XXXX

住民票に記載の住所を記入してください。

下記について確認願います。

下記家屋及びその敷地等は、当該家屋が「相続の時から取壊し、除却又は滅失の時まで事業の用、貸付けの用又は居住の用に供されていたことがないこと」(租税特別措置法第35条第3項第2号イ)、当該敷地等が「相続の時から譲渡の時まで事業の用、貸付けの用又は居住の用に供されていたことがないこと」(同号ロ)及び「取壊し、除却又は滅失の時から譲渡の時まで建物又は構築物の敷地の用に供されていたことがないこと」(同号ハ)、当該家屋が「相続の開始の直前において当該相続又は遺贈に係る被相続人(包括遺贈者を含む。以下同じ。)の居住の用(居住の用に供することができない事由として政令で定める事由(※1)(以下「特定事由」という。)により当該相続の開始の直前において当該被相続人の居住の用に供されていなかった場合(政令で定める場合に限る。))における当該特定事由により居住の用に供されなくなった家屋」(当該被相続人の当該居住の用に供されていたこと)である場合には、当該特定事由により当該家屋以外に居住をしていた者がいなかったこと)と同じ。(※2)通知における老人ホーム等入所中要

所在地は地番で記入してください。

建築年月日^{※1}及び取壊日^{※2}は閉鎖事項証明書でご確認ください。

^{※1}建築年月日は昭和56年5月31日以前の日付であることをご確認ください。
^{※2}未登記の場合は解体工事の請負契約書等により確認した解体日等を記入してください。

申請被相続人居住用家屋及びその敷地等(※3)の所在地(敷地の所在地番)	苫小牧市○○町××番×		
申請被相続人居住用家屋の建築年月日(※4)	昭和××年×月×日	家屋の取壊し、除却又は滅失の日(※5)	令和α年4月1日
被相続人の氏名及び住所	(住所)	苫小牧市×丁目×番×号	
	(氏名)	○ ○ □ □	申請者からみた続柄 ○
相続開始日(被相続人の死亡日)	令和×年×月×日	譲渡日(※6)	令和α年10月1日
申請被相続人居住用家屋又はその敷地等の取得をした他の相続人の氏名及び住所 ※書ききれない場合は別紙	<input type="checkbox"/> 家屋	(住所)	△△県△△市△△町△△丁目△番△号
	<input checked="" type="checkbox"/> 敷地等	(氏名)	○ ○ △ △
	<input type="checkbox"/> 家	申請者以外の相続人がいる場合のみ記入してください。	
	<input type="checkbox"/> 敷		

相手方に引き渡した日を記入してください。(売買契約日等)
 ※上記取壊日より後の日付であることをご確認ください。

(※3) 申請被相続人居住用家屋及びその敷地等は、被相続人から相続又は遺贈(贈与者の死により相続人(包括受遺者を含む。以下同じ。))が取得をしたものに限る。
 (※4) 申請被相続人居住用家屋は、昭和56年5月31日以前に建築されたものに限る。
 (※5) 申請被相続人居住用家屋の閉鎖事項証明書に記載された取壊し等をした日(未登記の場合は解体工事の請負契約書等により確認した解体日等)を記載する。
 (※6) 申請被相続人居住用家屋の敷地等の譲渡は、相続開始日から起算して同日以後3年を経過する日の属する年の12月31日までの間にしたのものに限る。

被相続人居住用家屋等確認書

上記について確認しました。

※市区町村記入欄

以下、記入不要につき省略

確認年月日 年 月 日

確認を行った市区町村長 印